

YU

山口大学広報誌 2009.7月号 NO.92

Information

ワイユー インフォメーション

オープンキャンパス特集

山口大学から未来が見えてくる



特集

オープンキャンパス特集
～山⼝大学から未来が見えてくる～

○自分の人生をつくる！	丸本卓哉	2
○特色ある初年次での学び	小嶋直哉	3
○山⼝大学が求める学生像	松田博	4
○自主的な活動を	吉村誠	5
○山⼝大学の特色ある就職支援	平尾元彦	6

Come on! 山⼝大学 ～山大の魅力～

○人文学部	藤岡典子	7
○教育学部	坂田裕香里/羽田紀子	7
○経済学部	佐村愛美/濱田菜摘	8
○理学部	藤田哲朗	9
○医学部	河村雪乃	9
○工学部	岡部公誠	10
○農学部	平田翔	10
○人文科学研究科	大岡愛	11
○理工学研究科	金森翔一	11



キャンパスライフレポート ～3つのテーマで見る山大～

○生活編	齋木一平/財満晃一	12
○勉強編	吉原由香里/衛藤竜太郎	13
○部活・サークル編	沖田康平/高島竜平	14

山大生のリアルな1日 ～タイムテーブルで紹介～

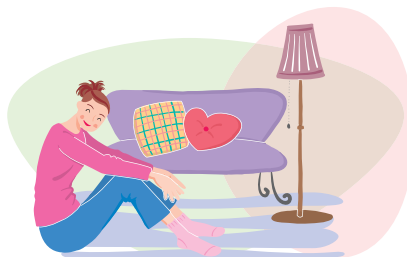
○人文学部	米倉梨紗	15
○教育学部	木山浄香	15
○経済学部	坂田大知	15
○理学部	村上周	16
○医学部	三宅晶子	16
○工学部	重村直輝	16
○農学部	陶山学	16



山⼝大学の留学制度 ～海外を体験しよう～

○留学制度の紹介		17
○留学体験記	小平ひかり	17

キャンパスマップ		18
広報学生スタッフ「YU-PRSS」		20
トピックス		21
編集後記		



自分の人生をつくる！

私と一緒に
楽しみましょう！

丸本 卓哉
山口大学長

オープンキャンパスへようこそ！

オープンキャンパスへようこそ！近年、18歳人口の減少に伴って、大学進学を希望する人の大多数が入学できるチャンスが広がりました。また、国立大学が法人化して6年目を迎えますが、いろいろな意味で国公私大学の競争が激しくなっており、各大学の特色を知っていただく「オープンキャンパス」も多くの大学で実施されています。大学とはどういうところか、この機会に山口大学を「見て、聞いて、感じて、体験して、触れて」ください。立地環境・施設・設備とともに、先生や先輩との出会いで、皆さんの夢・未来像を描き、勉学に対するモチベーションを高めてください。

夢・未来像を描こう！

山口大学のオープンキャンパスは、色々な工夫をこらして大学の教育や研究内容を興味深く、分かりやすく説明できる努力をしています。また、皆さん方の各種の質問や疑問に対して丁寧に答えることができるように教職員一同、準備をしています。先生方に疑問や質問を投げ返し、キャッチボールをしながら少しでも皆さんの夢・未来像を描くことのお手伝いができれば大変うれしいことです。

受験生の皆さんは、大学を選択する基準を何に置

いていますか？自分の性格や特徴、好き嫌いなど、学業成績以外の要因がどれくらい影響しているのでしょうか？

大学に入ってから4年間あるいは6年間、9年間というのは、その後の人生を決める重要な期間です。大学を卒業あるいは修了して社会人としてのスタートを切るとき、大学生活をどう過ごし、何を身に付けたのかが大切です。この期間に身に付けたものの見方、感じ方はいつまでも変わらないものです。

山口大学には、皆さんと『共に力を合わせ、共に育み合い、共に喜びを分かち合える』優秀な先生、職員、先輩方がいます。また、十分な研究設備や実験機器など、勉学、研究を行うための環境も整っています。留学のプログラムや就職・キャリア支援も充実しています。キャンパスのある山口市、宇部市は大都会ではありませんが、勉学と人間形成をするには、もってこいの環境です。

発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場

山口大学の教育理念は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」です。在学中に自分を発見し、自分の得意分野や専門性を伸ばしてはぐくみ、大学人としての教養や人間力を高めて、国際的にも活躍できる力を備えて、社会へ出発できる人材の育成を目標としています。

そして、明治維新後の日本近代化に貢献した「長州ファイブ」（伊藤博文『初代総理大臣』、井上馨『初代外務大臣』、井上勝『鉄道行政に貢献』、遠藤謹助『造幣事業に貢献』、山尾庸三『工業近代化・工学教育に貢献』）のチャレンジ精神を山口大学で学び、自分の人生の土台をつくってほしいと願っています。

山口大学は、夢・希望をもちチャレンジ精神のある皆さんを歓迎します。来年の4月に皆さんと入学式でお会いできることを楽しみにしています。

特色ある初年次での学び

大学教育機構は、大学における入学から学業・教育全般、学生生活と健康について、皆さんと長く密接に関わっていく部門です。ここでは、その中でも特に山口大学へ入学した初年次に、全員が学ぶことになる特徴的な科目の例を紹介します。



小嶋 直哉
教育学生担当副学長
大学教育機構長

スタートアップ教育「基礎セミナー」

入学直後に行われるフレッシュマンセミナーに継続して開始される科目です。ここでは、学部・学科の先生方がそれぞれの専門の内容をやさしく解説したり、小グループで発表・討論を試みたり、報告書の作成指導を受けたり、あるいはOBの社会体験談を聴くなど、いろいろな取り組みがなされています。

「情報リテラシー」 「情報セキュリティ・モラル」

全学生は入学時に個人用のIDが与えられ、ネットワークを介して各自のパソコンから情報交換を行うこととなります。そのためにパソコンの使用・管理技術を身につけるとともに、ネットワーク上で加害者・被害者とならないような知識と技術、モラルについて学びます。

国際コミュニケーション力育成 「TOEIC関連科目」

グローバル化の時代にあって、英語によるコミュニケーション力は不可欠なものとなっています。例えば私の研究室では、大学院学生は国際会議で発表することが通例になっていますし、将来、皆さんが就職した会社で電話の受話器を取ったら、Hello！と来ることとなります。本学では入学当初から、英語の実用能力について国際的に権威のあるTOEICの点数により、それぞれの能力に応じた少人数クラスの授業を展開しています。

最後に

2日間という短い時間では、7学部に加え7大学院研究科、2連合大学院と専門職大学院の全てを見ることはとてもできません。このオープンキャンパスでは、7学部がそれぞれ企画した各学部の一側面を見ていただきます。

山口大学は基本理念「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」のもとで、教育と研究、地域や産業との連携を通して、知の創造に取り組んでいます。この基本理念では、誰が（発見し…）なのか、何を（発見し…）なのかについては触れていません。大学における学生生活を通して、このことを皆さん一人ひとりが静かに、深く考え続けることを願っています。



TOEICの授業風景—留学生を交えた英会話の練習の様子—

山口大学が求める学生像



松田 博
アドミッションセンター長
理工学研究科 教授

大学教育の状況は、急速にグローバル化する社会の変化に応じて近年大きく変化してきており、特に高等教育を受けた学生が卒業後、修了後に国際的に通用するよう、質の高い教育の実施が求められています。一方で、少子化による人口減少のために大学では、志願者数に対して入学者受入れ規模の割合が90%以上となって、いわゆる大学全入時代が到来したといわれています。そのような状況下で大学は、学習成果を重視する国際的な流れを踏まえて、まず入学試験によって入学生の質確保を行うこと、また学士課程教育、大学院教育を通じて未来の社会を支える広い教養を備えた専門的人材を育成することが求められています。

このような点を背景に、大学では、学生の個性等を見出して、多様化する社会に対応できる人材の輩出を行うべく、学力を重視した一般入試以外にAO入試、推薦入試を行っています。しかし、これらの入試においては学力の把握が不十分との指摘もあることから、アドミッションポリシーを明確にするとともに、客観的な基準を設けるなど、入試方法の見直しを行っているところです。

さらに、昨年閣議決定された留学生30万人計画がスタートし、山口大学においても留学生に対する学士課程のツィニングプログラム^(注1)、大学院のダブルディグリープログラム等^(注2)、多彩な教育方法がすでに進行していますが、受け入れた優秀な留学生を含めて国際的な視野に立って人材の育成を行おうとしています。

このような現状を踏まえて、山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念にして、地域に生き、かつ、世界に羽ばたく人材を育成することを目指しています。そのために、次のような学生の入学を求めています。

山口大学 アドミッションポリシー

- 学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- 明確な目的意識をもち、高い目標を掲げて努力してきた人
- 自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- 自分の考えや意見を論理的に説明できる人

※その他、学部・学科・課程ごとにアドミッションポリシーを設けています。

URL : <http://arc.yamaguchi-u.ac.jp/>

(注1) ツィニングプログラム

学部教育の最初の2年間は、海外の大学において日本語教育および専門基礎教育を実施し、後半の2年間は日本の大学において専門教育を実施するプログラム。

(注2) ダブルディグリープログラム

海外の大学との単位互換制度を活用して、学生に一定の期間において複数の学位プログラムを修了させることにより、複数の学位を授与するもの。

自主的な活動を

はじめに

大学生活における時間は学業以外は自由ですが、ただ遊んでいるだけではもったいないでしょう。いくら受験勉強から開放されたとはいえ、自分を高めることに自ら進んで時間を費やすことは大事なことだと思います。自主的な活動としてはもちろん部活もありますが、それ以外にも自由な発想で楽しみながら自分の将来や社会に役立つことをすることは重要なことです。大学はそんな活動を大事に考えて、さまざまな形でサポートする体制を整えています。

自主活動ルーム

社会に役立つ自主的な活動を「何かしてみたいがどうすればいいのか」という人は、ぜひ自主活動ルームを訪ねてみてください。自主活動ルームのコーディネーターと話しながら、「何か」を形にしていくことができるでしょう。また、自主活動ルームには、大学が紹介する市民活動に関する情報が多くあります。



自主活動ルームでの相談風景

おもしろプロジェクト

学生が主体的に企画・立案したユニークなプロジェクトに対して大学が補助金を出すというものです。おもプロの哲学は、「失敗してもいい、思う存分やってみる」。内容は理系・文系を問わず、さまざまな分野や内容にわたっています。例えば、ロボットを作ってロボコンに出たり、大学周辺の地区の



吉村 誠
学生支援センター長
教育学部 教授

方々と共同でイベントを催すなど地域に貢献するものや、留学生を交えた国際交流を目的とするものなどさまざまです。次はあなたの番です。友達を誘って、今までにないユニークな企画を考えて、挑戦してみてください。



おもしろプロジェクトの認定証授与

最後に

あちらこちらで聞くことと思いますが、山口大学は、「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念としています。それは正課の勉強はもちろん、それ以外でも実践することは重要なことだと考えています。自主的にものを考え、活動するという力を育み、その資質を身に付けるということは、将来、損をしないはずはありません。こうした充実したキャンパスライフを送るために、学生支援センターはみんなの自主的な活動を支援するシステムを作っていますので、ぜひ山口大学の学生となっておおいに活用してください。

山口大学の特色ある就職支援

大学を卒業して、進学する人、就職する人、進む道はさまざまですが、大学を卒業した次の一步を、自信と期待をもって歩むことができるように、山口大学では、学生のキャリア形成支援の活動に力を入れています。ここでは、本学の多彩な支援活動の中から、特徴的な取り組みのいくつかをご紹介します。



平尾 元彦
大学教育機構学生支援センター
教授

教育連携・相談重視

「自分のキャリアは自分で考え、選択する」ための基礎力を身に付ける共通教育科目「キャリアと就職」で、3年生は就職活動の準備を始めます。多くの学生が受講できるように時間帯をずらして複数コマを開講し、昨年度は5コマで約900人の学生が学ぶ大型講義となっています。さらに、この授業を担当する専任教員が就職支援室に常駐して個別相談に対応することで、教育活動との効果的な連携を図ってきました。また、ジョブカフェ山口（山口県若者就職支援センター）による授業への参画とキャリアカウンセリングの学内実施によって、相談体制に厚みを増しています。一人ひとりの個性が輝くキャリア支援の実現は、山口大学の目指すところです。

学生による学生のための活動

就職活動を終えた4年生と、これから取り組む3年生による「就職活動交流会」を年2回開催するほか、先輩の就職活動体験談を冊子にした「就活Information」の発行など、学生たちが主体的に行う活動を支援しています。自分たちの未来を自分たちでつかんでいく。そのための活動を自分たちで考え実践する。そんな元気な学生が多いのも、山口大学の特徴だといえるでしょう。

働くことをもっとリアルに！

地方の大学生は、働くことを身近に感じる機会がなく不利だと言われることもありますが、一方で、「山口大学の学生は意識が高い」との評価もいただいています。その秘密は、職業の現実感覚、すなわち“職業リアリティ”を向上させるためのさまざまな取り組みです。低学年からのキャリア教育に力を入れるとともに、インターンシップの推進、そして、人事担当者や技術者・経営者などをお招きした「学内業界・企業研究会」の開催です。平成20年度は11月から2月まで471社を山口・宇部のキャンパスにお迎えするなど、リアルでライブなキャリア学習の実践に力を入れてきました。学内での学びの機会を大切に！多くの企業・官公庁にご協力をいただきながら、働くことをしっかりと理解する。山口大学が最も力をいれる取り組みの一つです。



学内業界・企業研究会（常盤キャンパス会場）

わたしの山口大学を選んだ理由



人文学部 言語文化学科
英語・英米文学コース 3年
藤岡 典子

山口大学だったら、地元なので一人暮らしをしても大丈夫、実家に帰りやすい、と思ったのがそもそものきっかけでした。

自分の性格上、新しい環境に慣れるのに時間がかかると思っていました。山大的Webページやパンフレットを見てみると雰囲気が良かったし、山大に進んだ知り合いの先輩方も順調に大学生活を送っているようなので、最終的に受験を決

めました。

後から聞いた話ですが、私が所属する英語コースの先生方は、みんな専門分野が違っているためバリエーションが豊富で、バランスが良いと言われているそうです。実際、さまざまな方向から英語を学んだり、1人では読み切れない外国書を読んだり、勉強できる範囲が広く、やりがいを感じています。

ただ、志望校を選ぶときの楽しさを考えると、高校生の時に、もう少し色々な大学を調べたり、パンフレットを取り寄せたりして、大学選びを楽しんでもよかったなと、一人暮らしに慣れた今では思ったりもします。

やりたいことが見つかる



教育学部 学校教育教員養成課程
教科教育コース 美術教育選修 4年
坂田裕香里

山口大学に入学した当初は「教師になるのか」と聞かれても、その時ははっきりと決めていませんでした。大学で美術を学びたいと漠然と考えていただけだったので、興味はあったものの、深く考えていなかったのです。

しかし、その「興味」は、3年生の前期・後期で行われる山口大学教育学部附属の中学校・小学校での教育実習で「やりたいこと」に変わりました。上手くいくこともあれば失敗もあり、実習先

の先生方の熱意あるご指導や子どもたちの笑顔に支えられ、失敗した分だけたくさん学びを得られる実習だったと思います。

また、山口大学には、他の大学には見られない「ちゃぶ台ルーム」という取り組みがあり、小学校を主とした小・中・高校への学習指導や、林間学校での野外活動の指導を体験できるようになっています。私も参加していますが、これもまた本当に貴重な体験ができ、「教師になる」と熱意を持って入学する人はもちろん、進路に迷っていたり、分からないと思っている人にもお勧めです。

山口大学には、私が挙げたこと以外にもたくさん「チャンス」を与えてくれるさまざまな取り組みがあります。「やりたいこと」を見つけたい、深めたい方には山口大学をお勧めします。

山口大学に入学して



教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 1年
羽田 紀子

私が山口大学に入学して感じたことは、「人の温かさ」です。小学校教育コースは今年度新設の課程なので、不安なことが多くありました。しかし、授業の登録方法や一人暮らしのことについて親身に考えてくださる先生や先輩がいてくれたおかげで、スムーズに大学生活を送ることができています。

小学校教育コースの特徴の一つは「授業」です。1年生の時から地域の子どもたちとの活動や、近隣の小学校の参観実習などが行われます。「協働

実践基礎」という授業では、5月に大学通りのケヤキの木に名札をつけようというプロジェクトを行いました。1年生の私たちにとって初めてのプロジェクトだったので、力不足のところもあり反省点も含め勉強になることが多くありました。しかし、このように1年生から子どもたちと関わることのできる独自の授業があるこのコースで学べることを、大変嬉しく思います。また、私の将来の夢の実現に向かって一歩一歩、「人の温かさ」を感じながら前に進んでいることを実感しています。



小学校教育コースの仲間たちと

職業会計人コースの魅力



経済学部 経営学科
職業会計人コース(税務) 2年
佐村 愛美

私は商業高校出身ということもあり、税理士や会計士といった仕事に興味を持っていました。そんな時、山口大学のパンフレットで職業会計人コースのことを知り、山口大学を受験しました。

職業会計人コースには、公認会計士を目指す「会計専攻」と、税理士を目指す「税務専攻」の2つのコースがあります。どちらも難易度の高い

国家試験であるため、勉強はとても大変です。しかし、コースでの勉強の一部が大学の単位として認定されるため、大学の授業との両立が可能で、さらに大学とは別に専門学校に通うダブルスクールという形をとる必要がなく、大変効率良く勉強ができる環境が整えられています。

また、同じ目標を持った友人たちとともに勉強することで、周りから良い刺激を受け、勉強は大変でも、充実した大学生活を送ることができます。

公認会計士や税理士などを目指している方はもちろんですが、少しでも会計に興味がある方もこのコースと一緒に目標に向かって、充実した大学生活を送ってみませんか？

経済法学科バイブル



経済学部
経済法学科 3年
濱田 菜摘

皆さん、こんにちは。私の体験談が少しでも皆さんの進路選択の手助けになればと思い、この原稿を引き受けました。

私は高校3年生の時に山口大学のオープンキャンパスに参加したことがきっかけで、山口大学に興味を持ちました。広いキャンパスの中で、自分が学んでいることに誇りをもって輝いている先輩方を見て、私もこのような学習環境で勉強をして

みたいと思い、山口大学を受験しました。

高校時代には、私は大学に入ったらとにかく自分の好きなことを幅広くチャレンジしてみたいと思っていました。法律も勉強してみたいし、経済の仕組みや経営の在り方なども勉強してみたい。そんな人に経済法学科は大変お勧めです。経済法学科では憲法、民法、商法といったさまざまな法律を専門的に勉強できるだけでなく、経済に関する勉強を幅広く学習することができます。せっかくの大学生活を送るなら、より充実したものにしたいと思いませんか。

いろいろなものにも興味をもって、いろいろなものにチャレンジしたいと思っている人はぜひこの経済法学科をお勧めします。

知って得る情報 Q & A

Q

AO入試や推薦入試について教えてください。

A

●AO入試

通常の学力試験では判断できない一人ひとりの個性や学ぶ意欲を評価するため、面接や講義等理解力試験により試験を実施します。推薦入試との違いは、学校長からの推薦がいないこと、希望すれば誰でも挑戦できることなどが挙げられます。今年の試験は8月17日(月)～20日(木)の間に出願し、9月14日(月)～17日(木)に実施され、合格発表は10月7日(水)で、本学では最も早い入試となります。

●推薦入試

学校長の推薦する受験生を対象とした入試制度で、個別学力検査を免除して調査書や面接、小論文などで入試を実施します。なお、山口大学では、大学入試センター試験の成績を利用する推薦入試(人文、医、工、農学部(獣医))と利用しない推薦入試(教育、経済、理、農学部)を実施しています。今年は11月2日(月)から出願が始まり、12月1日(火)から試験が実施されます。センター試験成績利用の有無で試験日程が異なるため、詳しくは、<http://nyushi.arc.yamaguchi-u.ac.jp/yoko-h22/H22sen-yoko.pdf>をご覧ください。



切磋琢磨。結果は後から付いてくるさ。



理学部
生物・化学科 3年

藤田 哲朗

私は、理学部の生物・化学科で化学を専攻しています。私の高校時代は勉強の毎日でした。学費のことを考慮し、高校入学時から国立の大学に進学しようと思っていました。高校入学当初は別の大学の受験を考えていましたが、最終的には得意な化学を活かせる山口大学を受験することにしま

した。山口大学に入学することになったのも何かの縁と考え、今は山口大学で勉強に励んでいます。

これから大学受験をされる方に伝えたいことは、日々の時間を大切にすること、共に切磋琢磨できる仲間やライバルを作ること、さらにはどんなことにも興味を持ち、高い目標を持つということです。私が受験勉強を頑張れたのは、素晴らしいライバルがいたからです。

大学の勉強では、自分の興味をとことん突き詰めることができます。仲間と競い合うことで、自分の力を高めてください。日々の努力の積み重ねが大きな力になります。山大でお待ちしています。

自己を開発できるカリキュラム



医学部 医学科 2年

河村 雪乃

私が山口大学を選んだ理由は、特にそのカリキュラムにあります。

1年生では医学入門、2年生で基礎医学の講義が始まり、3年生になるとおよそ半年間、自己開発コースという、自分でテーマを決めて勉強できる期間があるのです。たとえば、海外に行ってボランティア活動を行った先輩がいらっしやいます。計画と受け入れ先がしっかりしていることを証明すれば、海外を含めどこで研修してもよいのです。自分が興味のあることを自由に探究できるという貴重な経験はめったにできるものではないと思い、魅力を感じました。4年生では主に病態系を学び、5・6年生になるといよいよ白衣を着て病院での実習が始まります。

また山口大学は設備も整っており、医学部図書館は24時間利用することができて便利です。さらに、現在私たちは肉眼解剖実習を行っていますが、この山口大学の恵まれた環境の中勉強できること、そして山口大学の医学生のために献体をしてくださる白蘭会の方々に、とても感謝しています。



医・工学部管弦楽団の団内演奏会

知って得る情報 Q & A

Q 学生寮には、誰でも入れるの？

A 学生寮は、本学の学生であれば誰でも入寮できます。新入生の入寮募集(男子 約100人、女子 約50人)は毎年3月に行っており、入寮は、経済状況を判断して決定されます。なお、吉田キャンパスの学生寮については、改修を予定していますので、募集人員については http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kouseika/ssc/layer4/tebiki_2009/html/f07-01.htm を参照ください。また、今年3月には、常盤キャンパスに女子寮が竣工しました。ぜひ、学生寮で共同生活を体験され、大学生生活をより充実したものにしてください。

無駄など無い。どう活かすか、だ。



工学部
知能情報工学科 4年
岡部 公誠

私の父親はものづくりが得意で、よく父を真似て、色々なものを分解したりしていました。そんな父の影響もあり、私が工学部に入学したのも偶然ではなかったと思います。しかし、ものづくりをやりたいという漠然とした理想と、現実の大学生活とのギャップに、私は戸惑いを感じました。日々繰り返される勉強が将来の役に立つのか分らず、もっと実践的な事をやりたいと思っています。

した。私はものづくりという初心も忘れ、サークルや電子工作にのめり込み、その結果、留年することになってしまいました。

その後、なんとか学業を建て直し、やっと入った研究室。ここがとても面白いところでした。仲間とともに1つの研究を極めんと切磋琢磨する生活で、一度は方向性を見失った私でしたが、大局的に見れば大学で学んだ色々な事が今の研究に活かせることに気がつき、そして、まだまだ学び足りないとも感じました。今、やっと大海の広さに気付くことができ、毎日非常に充実した生活を送ることができています。工学部に入って良かったと思う、今日この頃です。

山口大学農学部とは



農学部
生物資源環境科学科 4年
平田 翔

私は、植物とそれを取り巻く環境について興味・関心があり、それらを深く学びたいと思い、農学部の生物資源環境科学科を選択しました。

山口大学農学部は、敷地面積が広く、吉田キャンパスの大部分を農学部が占めています。実際にフィールドに出て、作物とふれあい、成長していく様子を観察するという事は、教室で講義を受けることに加えていっそう理解が深まります。さ

らに、私が所属する生物資源環境科学科は、植物だけでなく土壌、気象、昆虫、動物、環境、病原菌、経営学など、扱う専門分野がとても幅広いので、自分の興味のある分野がきっと見つかると思います。

私の周りには農学の勉強に加えて、アルバイトや部活、サークルなどに力を入れている友人がたくさんいます。私自身もアルバイトにサークルと、さまざまな活動を通じて、他の学部の友人ができた、社会勉強になったりと、自分の視野が広がったように感じました。

皆さんも自然溢れる山口大学農学部で、農学に関するさまざまなことを一緒に学んでみませんか？

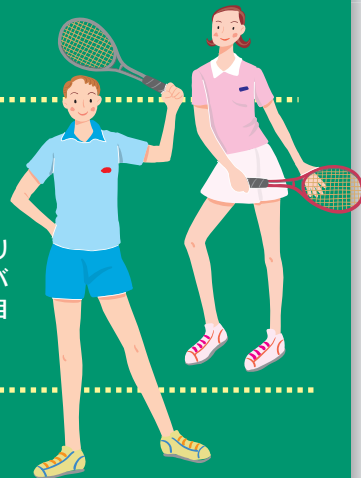
知って得る情報 Q & A

Q サークルに入してみたいけど、どのようなサークルがあるの？

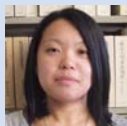
A 体育会所属サークル37、文化会所属サークル17、その他に64の同好会があります。4月初めに開かれる、サークル紹介イベント「新入生歓迎フェスティバル」や、引き続き開かれる各サークル、同好会による茶話会に出席して、自分に合ったサークルを探してみましょう。

Q 山口大学ではどんな資格が取得できるの？

A 学部によって異なりますが、教育職員免許状、図書館司書、学芸員、建築士、測量士補などの資格を取ることができます。詳しくは、大学案内の各学部のページをご覧ください。



やりたい事がみつかる場所



大学院人文科学研究科
地域文化専攻 1年

大岡 愛

私は今年、山口大学人文学部の地域歴史文化論コースから大学院人文科学研究科の地域文化へ進学しました。大学入学時に歴史学を選択したのは高校時代に世界史が一番得意だったからという理由だけで、どの地域、どの時代、どんなことを研究したいというはっきりとした目標はありませんでした。ただ漠然と中国の文化に惹かれるものが

あり、漢字の意味を辞書で調べるのが好きだったので、東洋史研究室を希望しました。しかし、実際に授業を受け、研究室で過ごしている間に先生方のお話や先輩の研究に刺激を受け、段々と興味や疑問がわき、4年生の時に明清時代の服飾についての卒業論文を書きました。

大学の研究室には書庫を含め、沢山の本や史料が収められています。それらに日々触れていくうちに、自分の中で曖昧だった興味や疑問が徐々に形づくられていくはずです。中国の服飾に興味を持ち、大学院に進学し、もっと多くのことを学びたいと私に思わせてくれたのは、研究室の先生や先輩を含む、この山口大学の環境に他なりません。

大学院進学について



大学院理工学研究科
電子情報システム工学専攻 1年

金森 翔一

私は学部生の頃は、小学校からこれまで学んできた中でなぜこんなに難しい勉強をしないといけないのかと思っていました。ところが、4年になって研究室に配属となり、これまで学んできた知識が研究を通し、研究結果や論文といった形となって返って来るようになり、「このために勉強してきたんだ!」と思うことができました。勉強は苦手なため、これまで大変だと思ってきましたが、本当に勉強してきて良かったと充実感がありました。

大学院は、小学校から大学までの間に学んで得てきた知識を活用し、形として残すことができる最大のチャンスであり、これまで得た知識が形と

なり、さらには自信となり、成長するチャンスが転がっていると思います。

皆さんもぜひ、大学院に進学し、自分が学んできたことに自信を持てるように、頑張っていたきたいと思います。



卒業式に研究仲間と（筆者：最後列右）

知って得る情報 Q & A

Q

入学料や授業料はいくらですか？

A

平成21年度の学部学生の入学料は282,000円、授業料は年間535,800円です。詳しくは、<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~suito/>をご覧ください。



レポート記事

3つのテーマで見る山大

～生活編～

一人暮らし



経済学部 経営学科 3年
齋木 一平

奨学金

大学生活が始まるとともに、一人暮らしが始まりました。私は、高校生の時に大学入学後の奨学金の申請をする制度があったので、それを活用しました。なので申請等の手続きは入学時には終わっており、入学後には、すぐに奨学金での生活がスタートできました。大学に入学してからの申請では奨学金の受取が数カ月延びてしまうのでとても便利だと感じました。大学で行う手続きはパソコンでできるため簡単ですし、奨学金担当の職員の方もとても親切に接してくださいました。

アルバイト

1年生の時は、授業が終わった後の時間を有効に使うとサークルやアルバイトを経験しました。アルバイトは授業が終わった後や、休日に勉強の支障が出ないように心がけました。テスト期間などはアルバイトを控え、勉強に集中しました。

生活スタイル

私は大学祭実行委員会というサークルに入っていて、学内イベントである姫山祭や新入生歓迎フェスティバルを運営しています。そのため、勉強やサークルで予定がいっぱいになりますが、奨学金のおかげで生活に困ることはありません。奨学金にアルバイト、授業、サークルなど大学生ならではの有効な時間の使い方をして、自分に合った生活スタイルを、一人暮らしを通じて見つけることができました。

私の大学生活



経済学部 経営学科 2年
財満 晃一

大学生活

私は山口大学に入学して、たくさんの人たちと出会い、色々な事を経験しました。最初は自炊です。今までは親が毎日ご飯を作ってくれていたのですが、自分で毎回ご飯を作って食器を洗うのは大変でした。大学生活では、不安も感じていましたが、友達と部活やサークルの茶話会にも積極的に参加しました。その中で私は、大学祭実行委員会に出会いました。

大学祭とアルバイト

普段は学校の授業を終えた後、夕方からアルバイトに行きます。大学祭の日程が近くなってくると、アルバイトをしながらもサークルに参加し、必要備品の買い出しから大学祭の説明会資料の作成などを行います。サークルにアルバイト、学業と本当に忙しい毎日ですが、充実した日々を送っています。

1年間を過ごしてみても

アルバイト、サークル、一人暮らし、大学生活、どれも高校に通っていた頃にはできない体験ばかりでした。何もしないには長く、何かをするには短い4年間、せっかくの大学生活です。皆さんも何か夢中になれることを探してみてください。

知って得る情報 Q & A

Q

授業料を免除してもらうことはできますか？

A

次の①、②のいずれかに該当する者について、授業料の全額または半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において次のいずれかに該当し、納付が著しく困難であると認められる者
 - ア 学資負担者が死亡した場合
 - イ 学生または学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

また、経済的理由による免除制度とは別に、特別待遇学生制度も設けています。この制度は学部学生に対し、学期毎に、各学部学年から学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められる学生を選考し、授業料を半額免除するものです。

その他に奨学金制度もあります。詳しくは、http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kouseika/ssc/layer2/ssc_big01shien_mid01keizai.htmをご覧ください。

～勉強編～

毎日の学習スケジュール

人文学部 人文社会学科 3年 吉原由香里



時間割

私は、人文学部人文社会学科の哲学・思想コースに所属しています。時間割も哲学や思想に関連したものが多く、自分の興味・関心に合った授業を多く履修するようにしています。人文学部では図書館司書や学芸員、教職の免許も取得できますが、私は取得するつもりがないので、本当に専門科目ばかりを履修しています。

私は早い時期から自分の研究テーマを定めていたので、受ける授業も必然的に研究テーマの方に偏るのですが、履修の関係で取った授業から学ぶことも多いです。

授業外の勉強

教員免許や資格の取得を目指していない学生には空きコマが多いので、私はその時間を活用して、講読や演習の予習をしています。私は西洋哲学のゼミに所属しているのですが、月曜日の講読では毎回、英語の哲学論文を読んでいます。そのため、空きコマや休日を使って論文の和訳をします。火曜日の演習は卒業論文演習で、私たち3年生も、発表に参加しています。講読の予習以外の時間はほとんど、その発表準備にあてています。

吉原さん時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1,2時限					
3,4時限	中国哲学史Ⅲ			東洋史特殊講義	社会学概論Ⅰ
5,6時限		日本思想史特殊講義	西洋哲学特殊講義		日本史特殊講義
7,8時限	西洋哲学講読	西洋哲学特殊講義	キャリアと就職	現代民族論	
9,10時限		西洋哲学演習			

大学の勉強

経済学部 経済法学科 2年 衛藤竜太郎



経済学部では

大学での勉強とはどんなものでしょうか？高校と大学の学習内容の1番の違いは、学部学科ごとの専門的な知識を学べることだと思います。経済学部では、1年生の時には必修科目としてミクロ経済学、マクロ経済学という経済学の基礎を学びます。他にも簿記という科目もあり、簡単に言えば規模の大きい家計簿といった感じです。

専門科目

私は今、経済法学科で民法、商法、刑法、憲法などの法学の専門科目を勉強しています。授業内容についての一例を挙げると、民法では日常生活で身近な事柄を扱うため、理解する時に考えやすく面白いと思います。いわゆる債権法では契約について、家族法では家系のことや婚姻のことについて学びます。また、自分が所属する学科とは違う学科の専門科目も受けることができるのも大学での勉強の特徴です。

衛藤さん時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1,2時限	商法Ⅰ	民法Ⅱ		民法Ⅰ	流通論
3,4時限	国際経済学	流通論	社会法Ⅰ	憲法Ⅰ	政治学Ⅰ
5,6時限	民法Ⅴ			刑法総論	国際運輸論
7,8時限				演習Ⅰ	
9,10時限					

最後に

大学では自分の興味を持ったことを学べるので、自分が何に興味があるのかを早く見つけ、勉強に楽しさを見い出せると、より良い大学生活を楽しむことができると思います。

知って得する情報 Q & A

Q

履修って何？

A

履修とは、簡単に言えば「自分が受けたい、もしくは受けなければならない授業を受ける」ことです。高校までと違い、大学での授業の時間割は自分自身で作ります。入学した学部ごとに決められたカリキュラムに沿って必修の授業のほか自分が取りたい授業を決めるため、自分だけの時間割ができます。なお、人気のある授業は抽選になることもあります。時間割が完成し、その登録の際に大学に提出するのが履修届です。新年度当初のキャンパス内では、新入生たちがどの授業を履修するか友人たちと相談しあう光景がよく見られます。

～部活・サークル編～

私の部活生活



体育会アーチェリー部
経済学部 経済法学科 4年
沖田 康平

アーチェリー部

私は体育会のアーチェリー部で3年間活動してきました。アーチェリー部は吉田寮の裏にあるアーチェリー場で活動しています。人数は現役が十数人と少ないのですが、普段はみんな仲が良く、練習では互いに切磋琢磨し合い、とても充実した学生生活を送ることができています。

部活生活

大学入学を機に何か新しいことを始めてみようと思い、また弓のカッコよさに惹かれたこともあり、この部に入りました。入った当初は初めての経験なので、練習についていくのが精一杯でしたが、上達していくにつれ、毎日練習に行くのが楽しみになっていました。また練習以外でもみんなで集まって遊ぶことが多く、それもこの部の魅力だと思っています。

アーチェリー部で学んだこと

昨年は自分たちが幹部を担った時期だったのでとても濃い1年だった気がします。部のリーダーの一人として目標に向けて部員たちを引っ張り、また部員一人ひとりとの関係も大事にし、他者にとっての精神面での支えになる必要もあり、部のまとめ方について同期と話し合ったことは多くありました。大変でしたが人の上に立つことの難しさや、仲間の大事さに気づくことができました。きっとこの部で学んだことは、これから社会に出てからの大事な糧になると思います。



中国五大学生競技大会での競技の様子

サークル活動



文化会美術部 部長
経済学部 経済法学科 3年
高島 竜平

サークル

大学のサークル活動は、中学や高校の部活と違い自由度が高い反面、部費の管理や事故防止など、学生自身が責任を持って気を付けなければなりません。

サークルと地域

文化会の多くのサークルでは、大会や行事の運営のために地域のお店にパンフレットへの広告の掲載を依頼し、広告料をいただいています。美術部では、普段食事に行っている飲食店や、画材屋さんにも広告を依頼するので、部員にはお店の人にくれぐれも失礼がないように言い聞かせています。

美術部では、春と秋の年に2回美術展を開催していますが、来場者の中には昔の美術部をご存知の方がいて、思い出話をしてくださったり、高校の美術の先生がいらしゃったときには作品に対する厳しい批評をいただきました。このように山口大学のサークルは地域の方々と交流することも多く、地域社会と密接にかかわっています。

美術部

美術部は今年の6月に70回目の美術展を開きました。美術部の伝統を守りつつ、OBとの合同展など新しいことにもチャレンジしていきます。2、3年生になって役職に就くと、仕事が大変なこともあります。部員のみんなが家族のように仲がいいのでみんなのために頑張らないと、と思いながら、サークルを運営しています。



美術部の仲間たち（美術展にて）

山大生のリアルな1日

～タイムテーブルで紹介～



人文学部 人文社会科学
社会学コース 3年
米倉 梨紗

この日は授業がぎっしりつまっていますが、毎日がこんなハードなわけではありません。2、3、5コマ目の授業は専攻している社会学に関するもので、調査実習では実際に調査を行います。放課後は学内で開講されている公務員講座を受講し、試験に向けて取り組んでいます。発表の準備や課題に加え、公務員講座の勉強は決して楽ではありませんが、こんなに勉強も遊びもできる時間は今だけだと思うので、精一杯取り組んでいこうと思っています。

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
睡眠	起床・朝食・準備	2コマ目 (社会学演習)	昼食 (寮の食堂でチキン南蛮)	3コマ目 (社会調査実習)	4コマ目 (美学・美術史特殊講義)	5コマ目 (コミュニケーション論)	学内の 公務員講座	夕飯・ 講座の 復習	お風呂・自由時間	睡眠								



教育学部 総合文化教育課程
文芸・芸能コース 4年
木山 浄香

私は美術史について研究するゼミに所属しています。私は浮世絵の美人画に興味があり、現在は主に図書館に行って資料集めを行っています。時には美術館まで行くこともあり、実際に作品を見て勉強しています。また、教育実習前には国語の教材研究も行います。生徒に分かりやすく教えるために、まず自分が理解しておかなければならないことがたくさんあるからです。自分の好きなことについて自由に学べるのでとても楽しく、毎日が充実しています☆
ぜひ、一緒に楽しいキャンパスライフを過ごしませんか!?

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
睡眠	起床	ゆつくりして準備 (パンorご飯と納豆)	朝食 料集め	県立美術館に行つて研究のための資料集め	友達とポーンでランチ (カフェに行ったりもします☆)	図書館でレポート作成ゼミで発表するためのレジュームなどをつくりま	図書館でレポート発表し合います	ゼミ(自分の研究内容を論文にまとめ発表し合います)	帰宅夕食(野菜炒めとスープ☆)	アルクで買い物してテレビやDVDを見てゆつくり	睡眠							



経済学部
観光政策学科 3年
坂田 大知

現在3年生ですが、卒業に必要な単位をほぼ取り終えていて、授業数が少ないため2年生の後期のある1日を載せました。授業・サークル・アルバイト・資格取得のための勉強とかなり忙しいですが、とても充実しています。大学ではさまざまな人との出会いがあって自分の世界が広がります。自分自身が意欲的に動けば動くほど大学生活は充実すると思います。やってみたいことや挑戦してみたいことを見つけて、素敵な4年間を過ごしてください!

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
睡眠	起床・朝食	1コマ目 交通産業論	2コマ目 時事中国語	図書館でレポート作成など	学食で昼食	4・5コマ目 プロジェクト演習	帰宅・準備	夕食	サークル活動 テールクラブ	お風呂	自由時間	睡眠						

学科の授業がメイン。中国語の読解に苦勞…。

ポーンで昼食。かぼちゃ煮と鳥ボン唐揚げがおすすぬ!

学科独自の授業。山口の観光業界への実習やお話を聞く貴重な機会。

旅行サークルに所属。週2回の部会の際は、食事に行って山口県内をドライブするのが定番。

家に帰ってからはテレビを見たり音楽を聴くなどしてゆつくり過ごす。



理学部
地球圏システム科学科
3年
村上 周

「キャリアと就職」の授業は、就職活動に役立つ情報を企業の方や卒業生から直接聞けます。空きコマの時間は、家の掃除をしたりレポート作成などをし、昼からは楽しみにしている「火山学」の授業を受け、火山噴火やマグマなどについて勉強します。その後の進級論文では、春・夏季休業中に泊まり込みで野外調査を行い、調査データや文献・過去の論文などを参考にして発表できるようにします。卒業論文の練習にもなり、とても貴重な時間です。
帰宅後、夕食と後片づけが済んだらレポートを作成し、それが終わると、入浴やテレビを見るなどして1日の疲れを癒します。

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
準備	起床・朝食・	1コマ目 キャリアと就職	空きコマ	学食で昼食	3コマ目 火山学	進級論文作成	帰宅	夕食の買い物・	後片づけ	料理・夕食・	レポート作成	自由時間	入浴・	睡眠				



医学部
医学科 2年
三宅 晶子

医学科は1年生の間は山口市の吉田キャンパスで、2年生以降は宇部市の小串キャンパスで学びます。2年生からは一気に専門科目となり、毎週月曜日にはテストもあります。さらに午後はほぼ毎日実習なので大変な部分もありますが、ほとんどの学生は部活と両立しており勉強のストレスは部活で発散している人も多いようです。

また、テスト前日の日曜日は友人で集まって勉強会を開くなど、できるだけ楽しく勉強していけるよう工夫しています。

忙しいですが日々新たな知識が入ってくるので、とても充実した毎日が送れています！

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
準備	起床・朝食・洗濯	1コマ目 消化器系(講義)	2コマ目 感覚器・末梢神経系(講義)	学食で昼食	肉眼解剖実習 (肺の摘出・解剖)	部活 (管弦楽団)	夕食	復習・予習	テレビ・入浴	就寝								

この日学生食堂は九州・沖縄フェア、限定メニューの新たなタコライスを食べました！

午後は解剖実習。部活の時間まで班の皆と頑張る勉強します

秋の演奏会に向けて練習しています

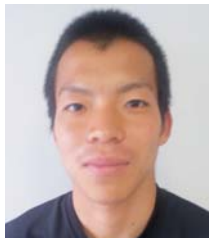
この日はパスタとスープを作りました



工学部
機械工学科 4年
重村 直輝

工学部では4年から研究室に配属されるので、研究室中心の生活になります。4年なので授業は週2コマ程度でほとんどないのですが、基本的に10時から17時までが所属する研究室のコアタイムになっていて、今は研究のための理論や英語の勉強などを行っています。また、ソーラーカーのサークルに所属しているので時間を見つけて作業をしており、現在は8月に鈴鹿で行われる大会に向けて車両製作中です。

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
睡眠	起床・朝食	研究室 (英語の勉強など)	仲良く研究室メンバで昼食	学食！研究室	3コマ目 (アカトランス基礎)	論文を読む、理論の勉強	研究室	サークル活動!! (工学部の車庫にてソーラーカーの製作)	夕食	自由時間 (TV、雑誌など)	睡眠 zzz							



農学部
獣医学科 3年
陶山 学

3年になって授業の数も増え、実習時間も多くなってきました。部活と勉強を両立したいのですが、実習のある日(水、木、金)は部活に遅刻、欠席することがほとんどです。また、実習の考察や予習も空いている時間を使ってしないといけないので、自由な時間がほとんどありませんが、大変なことばかりではないです。獣医学科の学生はとても仲が良いです。また、飲み会などで先輩と仲良くなる機会も多いです。忙しいと思うかもしれませんが、みんなで助け合いながらとても充実した毎日を送っていると思います。

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
学校の準備 (卵かけご飯・納豆・飯)	起床・朝食	1コマ目 (微生物学免疫学総論)	2コマ目 (生物統計学)	学食	昼ごはん・カレー、うどん、コンビニのパンで済ませます	実習	生理学実習 (動物の行動・組織の生理について学ぶ)	生理学実習 (動物の行動)	夕飯 (うどん・納豆・飯・たまご)	夕飯 (うどん・納豆・飯・たまご)	夕飯 (うどん・納豆・飯・たまご)	予習・復習 (動物の命の大切さを考える)	予習・復習 (動物の命の大切さを考える)	睡眠				

留学制度等について

～海外を体験しよう～



山口大学は、中国の山東大学、韓国の仁荷大学校、アメリカのオクラホマ大学、ドイツのエアランゲン・ニュルンベルク大学、カナダのリジャイナ大学など11国・地域25大学等と大学間等交流協定、12国・地域41大学等と学部間等交流協定を結んでいます。この交流協定に基づいて1年間以内の留学をする場合、皆さんは休学することなく留学することができます。協定校には授業料を納める必要もありませんし、留学中に修得した単位を山口大学の単位として認定もできます。

また、夏休みや春休みに、約1カ月間の海外短期語学研修（英語、中国語、ハングル（韓国語））を実施しています。この研修は語学の習得だけでなく、一般家庭でのホームステイなどを通じて、異文化理解を深め国際感覚を養成する貴重な体験の場となっています。事前研修を受講したうえで海外短期語学研修に参加すると「海外語学研修（英語、中国語、ハングル（韓国語）」4単位が認定されます。

なお、留学には少なからず費用も必要ですが、日本学生支援機構の留学生交流支援制度や山口大学日中学術交流基金などの各種奨学金制度もあります。

海外留学は皆さんにとってきっと有意義で貴重な体験になります。少しでも興味があれば、目的や動機を明確にして留学することをお奨めします。そんな皆さんを留学生センター、留学生支援室、各学部の担当教職員がサポートします。

担当：留学生支援室
TEL：083-933-5982
E-mail：ga142@yamaguchi-u.ac.jp

オーストラリアでの日々



私は2年生の夏休みの1カ月間、オーストラリアのニューカッスル大学での語学研修に参加しました。私はもともと英語が大好きだったので、留学は幼い頃からの夢でした。とても勇気がある決断でしたが、今では参加して良かったと心から思っています。

最初の1週間は言葉の壁や、生活の違いに慣れずとても心細い思いをしました。私の大学でのクラスは、私以外に日本人がいなかったので、授業についていくのもとても大変でした。しかし、ホストファミリーは毎日私を笑顔で迎えてくれ、自分の家に帰ったかのように安心できました。ママのハグは今でも忘れることができません。クラスメイトも私を妹のように可愛がってくれ、一緒に楽しく勉強をすることができました。

オーストラリアでは、初めて一人でバス

人文学部 言語文化学科 3年 小平ひかり

に乗れた日、英語のプレゼンを褒められたときなど、小さな自分の成長がとても嬉しかったです。伝えたい事がはっきりと伝えられない経験をすることで、もっと英語を勉強したいと思うきっかけにもなりました。たった1カ月でしたが、とても貴重な体験ができ、たくさんの人の優しさに支えられた研修でした。



ホストファミリーと

Yoshida Campas

吉田キャンパス

山口市にある吉田キャンパスは、5学部が集まる山口大学のメインキャンパス。緑豊かでのびのびとした雰囲気と、設備の整った研究施設という理想的な教育環境で、学生たちは生き生きと学生生活を送っています。

YOSHIDA CAMPUS MAP

山口市／大学教育機構・人文学部・教育学部・経済学部・理学部・農学部

利用時間
平日/休業期
8:30～21:45/8:30～17:30
土日/休業期
11:45～18:45/閉館

経済学部が永年にわたって収集してきた主要な産業の商品や重要な貿易商品など、数々の貴重な商品資料を陳列しています。

営業時間(長期休業中は縮小営業)
月～金 8:00～20:00
土 10:00～14:00

開館時間
平日/土日 9:00～17:00/閉館
本学キャンパス等から出土した埋蔵文化財の収蔵・展示と研究を行っています。

営業時間(長期休業中は縮小営業)
月～金 8:00～19:30

約300人収容のホールをはじめ、会議室・セミナー室・和室等があり、学術・文化活動および課外活動の場として利用されています。

Kogushi Campas

小串キャンパス

医学部の学生が集う小串キャンパスは、宇部市の中心部にありながらも近くの河畔公園から四季を感じることができます。そんな環境のもと、日々活発な研究活動を行っています。

KOGUSHI CAMPUS MAP

宇部市 医学部



学生食堂(医心館1階)
営業時間(長期休業中は縮小営業)
月~金 8:00~19:00



利用時間
平日/休業期
8:30~21:45/8:30~17:30
土日/休業期
9:15~16:45/閉館



Tokiwa Campas

常盤キャンパス

工学部の学びの場である常盤キャンパス。近くには宇部市の名所「常盤公園」があり、美しい景観が楽しめます。中四国地域の工学部では最大の規模を誇り、研究施設も充実しています。

TOKIWA CAMPUS MAP

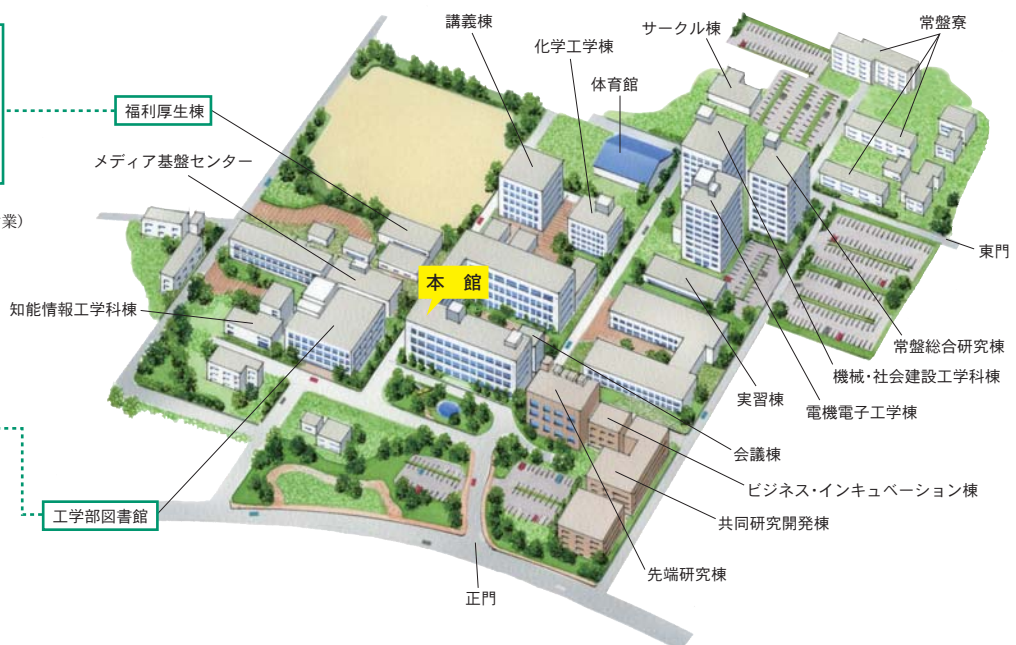
宇部市 工学部



学生食堂(福利厚生棟内)
営業時間(長期休業中は縮小営業)
月~金 8:00~20:30
土 11:00~14:00



利用時間
平日/休業期
8:30~21:45/8:30~17:30
土日/休業期
11:15~18:45/閉館



広報学生スタッフ ユープラス YU-PRSS 全員集合！ 11人になりました!!

この春、1年生5人と2年生1人の新たなメンバーを加えた広報学生スタッフ。名前もYU-PRSS（ユープラス）と定め、心機一転あらたな気持ちで頑張っています。

* YU-PRSSの由来

Yamaguchi University

Public Relations Student Staff

「山大生のあなた（You）にもそうでないあなた（You）にも“プラス”になる山大情報をお届けします！」

この思いをこめ、スタッフの1人島津さんが命名！

今度YU-PRSSの名刺でも作れたらいいなと考えています。

* 最近のYU-PRSS

主な仕事は山口大学Webページ「キャンパスライフ」（毎週更新）の作成ですが、スタッフが増えたことにより、集まる情報にも幅が広がりました！

文化部が多かった今までのスタッフに対し、新顔の1年生男子4人はバリバリの体育会系。まだぎこちなくカメラを構えている彼らですが、カメラの

足を軽々と担ぎあげ、猛スピードで撮影場所へと走る姿は頼もしい限りです。

* 新入生から一言

アメフト部で鍛えた筋肉を生かして、カメラ撮影やインタビューを頑張ります。(by 桐原)

三度の飯よりカメラが好きです。一生懸命頑張ります。(by 国本)

記事を書くのが苦手なので、三脚運びを頑張ります。(by 入江)

まだ新米ですが、これから色々な事を吸収していきます、最高の記事を書いていきます。(by 久保田)

撮影や編集に興味があってYU-PRSSに入りました。仕事を早く覚えて、貢献していきたいです。

(by 佐々木)

現在YU-PRSSでは「こんな人を取材してほしい」「こんなサークルについて知りたい！」という意見を募集しています！「自分（たち）を取材してほしい！」という方たちも大歓迎です。ご希望の方はぜひ、YU-PRSSにご連絡ください。たくさんのご応募、お待ちしております！！



YU-PRSSのメンバーたち

上段左から 農学部3年 安成 啓佑
理学部1年 久保田法彦
工学部1年 国本 亮
理学部1年 桐原 祐太
工学部1年 入江 貴博

中段左から 人文学部2年 林田 久恵
人文学部3年 島津 梢
人文学部3年 小枝 佑佳
人文学部3年 繁富 志織

下段左から 人文学部2年 原内 由佳
教育学部1年 佐々木裕美

連絡先→campus@yamaguchi-u.ac.jp

キャンパスライフHP ; http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/

☆誕生！学内に就職支援施設☆



2009年10月から
いよいよスタート!!

外観イメージ（メインエントランス側）

吉田キャンパス(山口市)の敷地内に、本学の学生を対象とした就職支援施設が新たに建設されます。講座は大学の授業終了後の夕方に開講されるため、大学の授業と両立が可能です！

開設される
試験対策講座

公務員、公認会計士、税理士、行政書士
宅地建物取引主任者、簿記

♪山大ラジオアワー♪

*エフエム山口『大人ウォーク』

- ・毎週土曜日20：00～20：55にエフエム山口でオンエア中。
- ・山口大学の出演は毎月第4土曜日！
- ・本学教職員やOBがゲスト出演し、楽しい話題やタメになる山口大学情報をお届けします。
- ・放送終了後には山口大学の Web上からも配信されます。



*FMきらら『ススメ！工学部』

- ・毎月第1木曜日の20：00から放送中！
- ・工学部の教員がパーソナリティを務め、工学部の教職員や学生が出演し、工学部の旬な話題をお届けします。
- ・放送終了後には Webでも配信しています。
- ・<http://kirara.eng.yamaguchi-u.ac.jp/>



編集後記

本格的な夏到来。そして前期の試験が終了すると、夏休みが始まるとともに、大学の大きなイベント、オープンキャンパスが開催されます。本号は、そのオープンキャンパス特集です。「山口大学から未来が見えてくる」というサブタイトルのもと、山口大学に興味を持ち、入学を目指す諸君に、山口大学そのもの、さらには山口大学に学ぶ学生たちの様子をまるごと知ってもらおうという内容です。

夢を抱きながら、山口大学へ入学してくる学生たちが、その秘める能力と感性にさらなる磨きをかけることができるカリキュラム。生き生きとしたキャンパスライフを過ごしながらも、将来を見据えた実践力を培う教育。そうした確固とした学びの場を、山口大学は学生諸君に提供できることを目指しています。

学生それぞれがその求める方向を見つけ出し、しっかりとそれらをはぐくみながら、まだ漠然とした自らの未来を、より明確な姿へと形づくっていく。山口大学は、教員と学生がそうした目標に向かって共に学び合う場となることを願っています。

(菊屋 吉生)

◎山口大学Webページ<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学広報誌第九十二号

平成二十一年七月三十一日発行

編集発行 山口大学広報委員会

(総合企画部広報チーム)

住所：山口市吉田一六七七一

電話：(〇八三) 九三三一五〇〇七

FAX：(〇八三) 九三三一五〇一三

E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

(本紙に関するご意見・ご感想をお寄せください)

印刷：(株)マルニ

広報委員会委員

村田 秀一 (総務企画担当副学長)

長畑 実 (総務企画担当副学長補佐
エクステンションセンター)

坪郷 英彦 (人文学部)

菊屋 吉生 (教育学部)

成富 敬 (経済学部)

岩尾 康宏 (理学部)

坂井田 功 (医学部)

浜本 義彦 (工学部)

藤間 充 (農学部)

何 暁毅 (大学教育機構)

近久 博志 (産学公連携・イノベーション推進機構)

小河原加久治 (大学情報機構)

松田 博 (アドミッションセンター)

中尾 淑乃 (総合企画部広報チーム)

※ 次号は11月30日発行予定です。(5月・7月・11月・3月の年4回発行予定)



YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学広報委員会 2009年7月発行